

平成28年度第3回三重県経営戦略会議 議題と論点

三重県経営戦略会議では、昨年度から今年度にかけて「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」やポストサミットなど、直面する県政の課題についてご議論いただきました。

三重県を取り巻く情勢について、より中長期のスパンで見ると、例えば2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催、2027年にはリニア中央新幹線東京―名古屋間の開業、2033年には第63回神宮式年遷宮など、三重県に大きなインパクトを与える内外の出来事が予定されています。一方、この間、人口減少・高齢化の一層の進展やICT技術の劇的な進歩などにより、県民の皆さんの暮らしが大きく変化することが想定されます。

このため、中長期の視点に立って三重県政の課題について検討したいと考え、今回は次の2つの議題を設定しました。

議題1：東京オリンピック・パラリンピックを生かすために

三重県では2018年に全国高等学校総合体育大会、2021年に三重とこわか国体及び全国障害者スポーツ大会三重大会の開催を控え、2017年を「スポーツイヤー元年」として競技力の向上や施設整備に取り組んでいるところですが、さらに2020年には東京オリンピック・パラリンピックという世界的なスポーツイベントが開催されます。

東京オリンピック・パラリンピックは単にスポーツの祭典というだけでなく、地域の経済発展や文化交流につながる大きなチャンスです。この機会を三重のさらなる発展に生かすため、注力すべきことは何か、留意しなければならない視点はないかなどについて、大局的な観点からご意見をいただきたいと思っております。

議題2：2030年頃の三重を展望して

三重県では、式年遷宮毎にインフラ整備が進み、観光入込客が大きく伸びるなど、県全体が経済や文化などの面で大きく盛り上がるという波を繰り返しています。また、2027年にはリニア中央新幹線東京―名古屋間が開業し、引き続き名古屋―大阪間の建設工事に着手される予定であり、その中間駅の県内への設置が見込まれています。このため、2030年頃を念頭に、どのような三重づくりをめざすべきか、長期的な観点からご意見をいただきたいと思っております。

資料

資料1 東京オリンピック・パラリンピックを見すえた当面の取組・・・(議題1)

資料2 年表

①三重県版未来年表 2017～2021年・・・・・・・・・・(共通)

②三重県版未来年表 2021～2050年・・・・・・・・・・(議題2)

③三重県版過去年表 1986～2016年・・・・・・・・・・(共通)

資料3 地図

①「2015年から見た2030年の三重県の人口増減状況」
と「2030年の老年人口割合」・・・・・・・・・・(議題2)

②三重県の交通ネットワークと主な観光・文化資源・・・・(共通)

資料4 2030年頃の三重の姿・・・・・・・・・・(議題2)